

(公社)静岡獣医師会長賞

十年間一緒にいてくれた「二匹の犬」

富士市立鷹岡中学校

一年 梅原亜美

私の家では、今から二、三年ほど前まで、一匹の犬を飼っていました。名前は、「グレ」といって雌犬です。グレは、私の母が十五才の時に、グレの母犬が潤井川で、他の犬たちと一緒にいたのを見つけたそうです。

グレは十五才で、肺がんと、心臓病で亡くなりました。私は、そのうち、十年間を、一緒にいました。亡くなる数カ月前に、一度よろめいたことがありました。その様子を見ていた祖母と母と私は、

「もう年が年だから、しょうがないよね。」

と話しました。それから、ごはんを食べる量も減って、少し様子が変だと思った母が、動物病院で病気にかかっていると云われたそうです。私は亡くなるまで、病気だと知らずにいました。

ごはんを食べる時は、薬を入れて食べていました。寒い日、暑い日関係なく、家の中で、飼うようになりました。そういう日々が続いて、週末遊びに行ったら、グレがダンボールの中で丸まっています。箱の外には、線香がありました。私は、その時、たくさんの思い出があったので、たくさん泣きました。弟も。

その時私は、

(なんで、なんで死んじゃったの?)

と思いました。その後、おそう式をして、お別れをしました。

たくさんの思い出があったグレと一緒にいて、ものすごく苦労したこと、楽しかったことがあります。苦労したことは、

三つです。一つ目は、郵便物の届けに来た人や近所の人、私たちにもとにかく、本当にだれにもほえていて、みんなびっくりしました。二つ目は、散歩に行く時です。その辺を、歩くだけなのに、すぐくテンションが高くなって、ものすごい力でひっぱられて、ふんばるのもやっとなりました。私は、散歩どころではありませんでした。三つ目は、私たちが、いない時に、脱走してしまうことです。脱走してしまうと、さがしに行くのが大変でした。さがしに行く役目は、私たちだったので、すごく大変でした。母たちは、

「あんたたちは、若いんだから、行って来なさい。」

と言いました。

楽しかったことは、二つあります。一つ目は散歩の時です。

苦労した時もあったけれど、それだけグレが楽しみにしていたようで、歩いている時は、本当に楽しそうでした。二つ目は、じゃれている時です。グレはだれにもほえると同時に、手を口に近づけると、ペロペロとなめるので、とてもくすぐったいですが、グレはそれがとてもうれしそうだったので、私自身も

うれしくなりました。

これまでグレのことについて話してきましたが、これから、大人になるにつれて、たくさんの小さい動物や大きい動物に、出会うと思います。そんな動物たちとたくさんふれあいたいです。これから、犬やねこを飼うかもしれないので、とても大切に育てかかわりたいです。

MY ペット

静岡市立東豊田中学校

一年 長 倉 成 見

私は、犬を一ぴき飼っています。その犬の名前は、「うめ」です。

うめは、とっても活発で、元気のいい犬です。

そんなうめは、私がないとき、その涙をなめてくれるのです。まるで、私のつらいことや悲しいことを吸い取ってくれるかのように。だから私は元気になります。

他にも、小さいころ私が家に一人のときも、うめがいたから、安心していられたのです。もちろん今もそうです。うめが遊んでいるところを見ると、自然に笑顔になるし、うめの存在は、私にとってものすごく大きいのです。うめがいたから、今の私、家族、友達がいるし、うめがいたから、私の笑顔も増えました。だから、そんなうめが私は大好きです。

私が読んだ本に、こう書いてありました。

「犬の一生は短い。欠点はそれだけである。」

犬の一生を私達飼い主がどれだけ楽しませてあげられるか、それが大事だと思います。

だから私は、うめの残りの人生を大切にしていきたいです。